



独立行政法人国立病院機構

栃木医療センター附属看護学校

友

と学ぶ、

共に学ぶ。





# 友と学ぶ、共に学ぶ。

Let's do our best together!

看護師国家試験合格率 100%

※2020、2022年度卒業生

夢の扉へ、  
第一歩を踏み出そう。

支えあえる仲間たち、導いてくれるせんぱいたち、  
アットホームな環境で、夢への扉を開きましょう。

## 01 学校長メッセージ Principal's Greeting

少子高齢化が進み医療・看護の需要は益々高まっています。そんな中で看護職を目指すみなさんの想いは尊いです。これを実現につなげるのが当校の役割です。ただ、いくら高邁な想いがあっても、それだけでは実現に繋がりません。最初に必要なのは、裏付けとなる知識・技術と資格の習得です。併設する栃木医療センターで臨床に携わる医師や看護師による講師陣の興味深い講義や臨床に即した実習による充実したカリキュラムは、みなさんのモチベーションを保つことでしょう。高い国家試験合格率の実績があります。

感性豊かな学生時代には、カリキュラム以外で学ぶことも多くあります。例えば、患者さんに寄り添う力となる共感性です。仕事として患者さんと接するときこの力は諸刃の刃でもあり、有効に発揮するためには距離感やバランス感覚も必要です。このための倫理観を養うことも同時に要求されます。手本となるのは、実践で活躍する多くの先輩方です。多くの先輩と話をしましょう。また、看護職になってからの継続力も学生時代に学んでいただきたいことです。どんなに優秀な人がベストな対応をしても、必ず良い結果が得られるとは限らないのが、医療・看護の不確実性です。この中でしなやかな折れない継続の力をつけるには、仕事や学業とは異なることに興味を持ち多角的視点で自分を見つめ直す教養を身に付けたり、つらい時に助け合う仲間の繋がりを構築することが重要です。

3年間の学生生活は短いです。同じ目標の仲間達とともに、学生生活をエンジョイしましょう。



独立行政法人国立病院機構  
栃木医療センター附属看護学校  
学校長 石原 雅行



## 02 教育理念 Our Philosophy

本校では、生命を尊重して豊かな人間性と高い倫理観をもち、科学的な知識による判断に基づき主体的に行動できる看護実践者を育てます。また、医療の発展に対応できる生涯学習能力、研究的態度を育みます。

### 母体である機構病院と連携した指導

当校は、全国140病院を有する国立病院機構が母体です。関東信越グループ32病院の一つである栃木医療センターは、質の高い医療・看護を提供しています。また、当校から毎年多くの卒業生が就職しており、卒業生が責任と愛情をもって後輩を育てています。充実した指導体制と多くの先輩たちの指導のもとで、看護の知識・技術を学ぶことができます。





## 03 看護学校での一日

### Daily time schedule

授業日の一日



#### 08:50～ 1 限目授業 (90分)

本日の授業は「日常生活の援助技術 I」です。  
患者さんにとって快適な療養環境を調整する事が患者さんの回復につながる事、療養環境を調整するための技術を学びます。

便利な電子テキスト

#### 10:30～ 2 限目授業 (90分)

#### 12:00～ 昼食

#### 13:00～ 3 限目授業 (90分)

3限目は、実習室での授業になります。事例をもとに、実際の患者さんを想定して看護援助を実施したり、シミュレーターを使用して病態把握のための観察方法を学びます。

#### 14:40～ 4 限目授業 (90分)

#### 16:10～ 清掃、ホームルーム、技術練習

放課後は、授業で学んだ技術を習得するためにクラスメイトと技術練習を行っています。また、課題のグループワークなどを行います。

仲間と技術練習

患者さんの状態を再現するシミュレーター



実習日の一日

学校から  
栃木医療センター  
まで徒歩1分



#### 09:00～ 臨地実習

主に栃木医療センターで実習を行います。実際に患者さんを受け持たせていただき、学内で学んだ知識、技術、態度を統合して患者さんに援助を行っていきます。

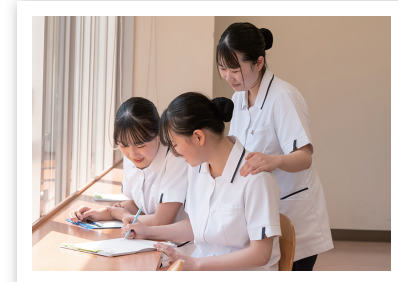
#### 12:00頃～ 昼食

#### 16:00～ 自己学習

##### 実習後の記録整理・技術練習・グループ学習

病棟実習を終了し、学内に戻りその日の看護を仲間と振り返り、教員からの指導を受けます。さらにより良い看護の提供を目指して学習やグループでの学びを共有していきます。

#### 17:00～ 清掃・帰宅



仲間とその日の看護を振り返り、実習内容への理解を深めます

## 04 看護学校の年間スケジュール

### Annual schedule

月	学校行事
4月	入学式／新入生オリエンテーション／避難訓練／健康診断／親睦会
5月	看護の日
6月	講義・臨地実習
7月	講義・臨地実習
8月	夏季休業
9月	講義・臨地実習
10月	誓いの式
11月	講義・臨地実習
12月	冬季休業
1月	講義・臨地実習
2月	看護師国家試験／卒業前技術演習／予餞会
3月	卒業式／学年末技術演習／学生フォーラム／春季休業



誓いの式

### Q&A

- Q1. 車での通学はできますか？**  
駐車場の契約を個人で行えば、自家用車での通学は可能です。
- Q2. 長期休暇はどれくらいありますか？**  
年間10週間です。(夏季5週間、冬季2週間、春季3週間)
- Q3. 実習はどこで行うのですか？**  
栃木医療センターが主ですが、NHO宇都宮病院、宇都宮西ヶ丘病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センターや特別養護老人ホーム等での実習もあります。
- Q4. 学食はありますか？**  
学食はありません。お弁当を持参するか、近くのコンビニや病院の売店を利用しています。





## 1年生

看護の基礎と志を学び、実習への準備を整える一年。

基礎分野	
■論理学	■社会学
■情報科学	■倫理学
■人間工学	■人間関係論
■教育学	■英語 I
■心理学	■健康科学

専門基礎分野
■解剖生理学 I (人体の構造・生命維持機能)
■解剖生理学 II (骨筋・循環器・呼吸器系)
■解剖生理学 III (消化器・腎泌尿器・内分泌系)
■解剖生理学 IV (脳神経・感覚器系)
■疾病と治療 (総論)
■疾病と治療 I (運動機能障害と治療)
■疾病と治療 II (呼吸・循環・造血機能障害と治療)
■疾病と治療 III (吸収・代謝・排泄機能障害と治療)
■疾病と治療 IV (中枢神経・感覚機能障害と治療)
■疾病と治療 V (内部環境・生体防御機能障害と治療)
■疾病と治療 VI (生殖機能の障害と治療)
■疾病と治療 VII (小児に特徴的な機能障害と治療)
■栄養学 (物質の代謝・食事療法)
■微生物学
■薬理学
■保健医療論

専門分野
■看護学概論
■共通基本技術
■日常生活の援助技術 I (環境)
■日常生活の援助技術 II (食事・排泄)
■日常生活の援助技術 III (姿勢と体位・睡眠・休息)
■日常生活の援助技術 IV (清潔・衣生活)
■ヘルスアセスメント
■看護の展開方法
■診療に伴う技術 I
■診療に伴う技術 II
■地域・在宅看護論 I
■成人看護学概論
■高齢者看護学概論
■小児看護学概論
■母性看護学概論
■精神看護学概論

専門分野 (臨地実習)
■基礎看護学実習 I

## 2年生

看護における、より専門的な分野が多くなり、実習も増えます。

基礎分野
■英語 II

専門基礎分野
■疾病と治療 VIII (精神障害と治療)
■公衆衛生

専門分野
■看護研究
■地域・在宅看護論 II
■地域・在宅看護援助技術
■地域・在宅で療養する対象の看護
■地域・在宅看護論演習
■運動機能に障害のある成人の看護
■生命維持機能に障害のある成人の看護
■消化機能、代謝機能に障害のある成人の看護
■排泄機能、生殖機能、免疫機能に障害のある成人の看護
■成人看護学演習
■高齢者の健康な生活の保持・増進に向けた看護
■健康障害のある高齢者の看護
■高齢者看護学演習
■子どもの成長発達に応じた看護
■健康障害のある子どもの看護
■小児看護学演習
■妊産褥婦の健康の保持・増進に向けた看護
■ハイリスクな状況にある妊産褥婦の看護
■母性看護学演習
■精神看護援助技法
■精神障害のある対象の看護
■精神看護学演習

専門分野 (臨地実習)
■基礎看護学実習 II
■地域・在宅看護論実習
■成人看護学実習
■老年看護学実習
■経過別看護実習 (慢性期)
■経過別看護実習 (急性・回復期)
■経過別看護実習 (終末期)
■小児看護学実習
■母性看護学実習
■精神看護学実習

## 3年生

実習が多くなり、実際の現場での看護を学びます。

専門基礎分野	
■社会福祉	■看護倫理
■関係法規	

専門分野	
■看護研究演習	■災害・国際看護
■看護管理	■臨床看護技術演習
■医療安全	

専門分野 (臨地実習)	
■地域・在宅看護論実習	※2年生・3年生を通じての実習となります。
■成人看護学実習	
■老年看護学実習	
■経過別看護実習 (慢性期)	
■経過別看護実習 (急性・回復期)	
■経過別看護実習 (終末期)	
■小児看護学実習	
■母性看護学実習	
■精神看護学実習	
■統合実習	

## Records

看護師国家試験 毎年全国平均以上の

### 高い合格率

2020、2022年度は、100%合格でした。

当校卒業後の

### 主な就職先

- 国立病院機構病院への就職。
- 国立病院機構栃木医療センター
- 国立病院機構宇都宮病院
- 実習関連施設

当校卒業後の

### 進学先

- 仙台医療センター附属仙台看護助産学校
- マロニエ医療福祉専門学校助産科
- 栃木県立衛生福祉大学保健看護学部保健学科 等



2年生 Mさん

### 仲間たちと一緒に学ぶ

入学してから1年経ち講義・技術演習・初めての看護実習を経験しました。社会人経験を経て看護学校に入学した時は多くの不安がありました。それでも1年間頑張ってきたのは、一緒に学び助け合う仲間がいたからです。看護学校は3年間で看護師に必要な知識・技術を学ぶ為多くの課題があります。1年生は看護の基礎と志を学ぶ講義や技術演習が多くあります。入学したてのぎこちない空気も、初めて学ぶ医学知識・看護技術について教え合い、空き時間を使い練習している内に打ち解けていきます。半年間、看護師について学び考えた自分の理想の看護師像を保護者、先輩方、先生方に見守られるなか誓います。挫折しそうな気持ちになる時もありますが、看護師になる夢に向かって助け合える仲間いることが強みになり楽しく学生生活を送っています。



卒業生 Sさん

### 看護学校が自信をくれた

看護学校は、私にとって自分を変えるきっかけをくれた場所でした。私はもともと人見知りで、グループワークがあっても自分の意見を言えませんでした。実習でクラスメイトと2人で患者さんを担当し、患者さんについての情報収集や清潔ケアを実施することになりました。クラスメイトと患者さんに同じ質問をしないように情報交換をし、ケアは2人で丁寧かつスピーディーにするにはどうするか話し合うことが多くありました。その話し合いの中で、勇気をもって伝えた自分の意見が認められ自然と自分の意見が出せるようになりました。考えた援助を実際に患者さんへ提供し、「気持ちよかった。ありがとう」と感謝の言葉をもらったことが自分意見に自信が持てるようになりました。実習でそのような体験ができたことで自分の意見に自信を持って言えるようになりました。今は様々な職種と退院支援について積極的に話し合い、患者さんの状態に合わせた看護を提供できるように日々努力しています。



3年生 Sさん

### 日々深まる自身の看護観

2年生の後半から実習中心の学校生活となり、患者様と関わる時間が増えてきました。これまで蓄えた知識や技術を活かし、日々自身の看護観がより深められていることを実感しています。実習期間中はもちろん壁にぶつかる事も悩む事もあります。しかし、年齢を問わず同じ志を持つ仲間たちの存在に救われています。先輩看護師さんや先生方から丁寧的確な指導を頂き乗り越えることができています。また、母体病院である栃木医療センターでの実習が主であることにより、自身の今後を見据え、将来像がイメージしやすいことも当校の魅力の一つです。看護師になりたいという思いを持ち入学し、沢山の方々のご指導の学びを深めることや患者様と触れ合った経験により、理想の看護師像が明確になりつつあります。あらゆる患者様にとっての最善の看護を提供できる看護師を目指しています。毎日楽しいです！！



卒業生 Nさん

### 患者さんのためにできること

小さい頃からの夢、看護師になるため看護学校に入学し、看護師になり20年以上経ちました。現在、看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師として勤務しています。学生生活は、勉強、実習、アルバイトなど忙しい時間を過ごしていましたが、同じ目標を持った仲間と出会うことができ充実し、とても楽しかったことを鮮明に覚えています。放課後実習中メンバーと「どんな看護を提供したら患者さんが回復していくか」、「安楽に過ごせるか」など遅くまで話し合ったのもいい思い出です。話し合いは、自分が大切にしたい看護を見つけたきっかけになったと思います。看護師になってからもスタッフと「患者さんのために」と日々試行錯誤をしています。仲間とおおいに語り合い自分の看護を見つけてください。



卒業生 Fさん

### 助産師を目指します

私は小学生のころから助産師になりたいという夢がありました。看護学を学習後、助産学校に行き助産学を学びたいという思いで栃木医療センター附属看護学校に入学しました。1年次には多くの講義があり、2・3年次には実際に病棟や施設に行き実習を行っています。課題や記録が多かったり、自分が理想としている看護が実践できなかつたりと、何度もくじけそうになり、助産師になる夢も諦めかけた時もありました。しかし、そんな時にそっと傍に寄り添ってくれていたのは、家族、友人、先生方でした。毎日が辛く大変だったという思い出がありますが、今思い返してみれば、とてもあつという間で、私にとってとても成長できた瞬間だと感じています。そして、母性看護学実習の際には、新生児・妊産褥婦と関わらせていただきました。実際に出産の見学をさせていただいたときには、兄の生きる力とその母の頑張る姿、兄と母に一生懸命声をかけ続ける助産師さんの姿に感銘を受けました。今後助産学を学ぶ上で、「助産師になる」という強い気持ちと、実習で学んだことを忘れないで信頼のある助産師を目指していきたいと考えています。



卒業生 Oさん

### 学生時代の学びが基盤

私は、現在混合病棟に勤務し、3年が経とうとしています。学生時代は、勉強や実習が上手くいかずくじけそうになることが何回もありました。しかし、そのたびに同級生、先生方に支えられ学生時代を乗り越えてきました。そのような時、学生時代に学んだ知識や技術が基盤となっていることを今実感しています。現在、患者さんとかかわる中で、自分のやりたい看護を見出し実現できるよう頑張っています。皆さんも、自分の夢を実現できるよう頑張ってください！応援しています！



卒業生 Sさん

### 仲間と一緒に学び続ける

学生時代の思い出の一つに実習があります。脳神経外科での実習では実際に起こる患者さんの変化を目のあたりにし、看護の魅力を知り自分もここで働いてみたいと思いました。そして脳神経外科を希望し、就職してから今まで脳神経外科で働いています。就職してからは大変な事もありましたが、学生時代からの同期も多く一緒に乗り越えることができました。同じ病院内に仲間がいて相談できるというのが当校の魅力だと思います。現在私は実習指導者として学生に多く関わらせてもらっています。実習は直接患者さんと関われる貴重な機会です。自分が学生時代に感じたように、短い実習期間にやりがいや少しくでも伝わればいいなと思いつつ学生と関わっています。学生からの「一緒に働きたいです」という言葉やうれしそうな表情・成長を見ることにもやりがいを感じています。私自身も一緒に看護を学んでいる途中です。今後皆さんと一緒に学べるのを楽しみにしています。



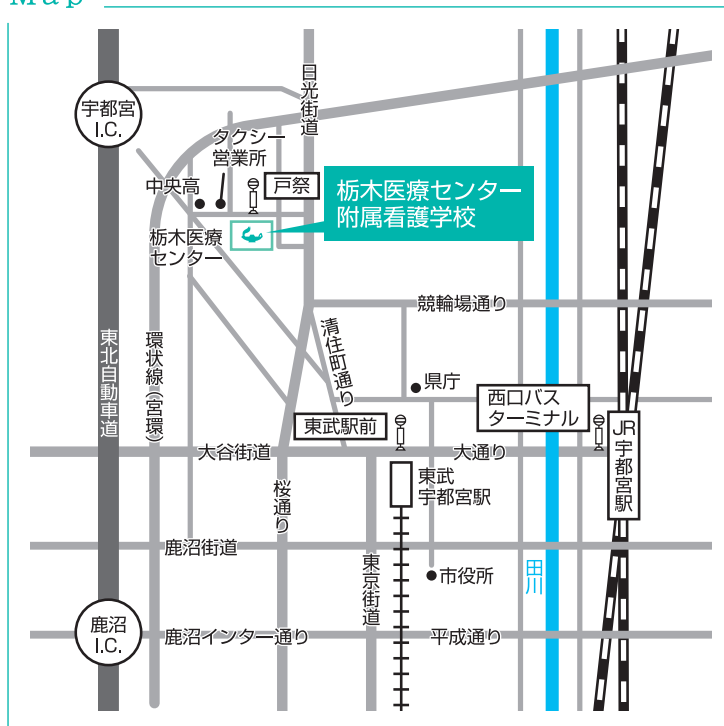
卒業生 Mさん

### 協力することが大切

看護学校は、定員40人の少人数のクラスです。そのため、仲間と協力しながら知識を深めることができました。また、看護学校でできた仲間は、就職してからも同期として支えながら働いていくことができるため、とても心強いです。臨床の現場では、患者さんに対して、様々な職種が関わり医療を提供しています。自分だけではなく、必要時には他の看護師や他職種の方に相談し、協力することで患者さんに最も必要な医療や看護を提供することができます。私はそれにやりがいを感じています。女性が多い職場ですが、患者さんから男性ということに頼っていただけのことや、男性に相談したい患者さんも多いため、男性看護師としてのやりがいを感じています。



## Map



## Access

### JR 宇都宮駅よりバス

【乗車】 宇都宮駅西口バスターミナルの1番乗り場より  
「細谷車庫行き(50番 清住町経由)」



【下車】 「戸祭」バス停  
徒歩30秒。北門よりお入りください。

### 東武宇都宮駅よりバス

【乗車】 大通り沿い「東武駅前」バス停より  
「細谷車庫行き(50番 清住町経由)」  
「ろまんちっく村行き(51番 仁良塚経由)」



【下車】 「戸祭」バス停  
徒歩30秒。北門よりお入りください。

